

きょういく伊勢原



ホームページでカラー版を公開しています。



市役所代表Tel0463-94-4711

■教育総務課 総務係・施設係 74-5104、文化財係 74-5109 ■学校教育課 学務係 74-5168、人事係 74-5214、学校給食係 74-5224

■教育指導課 教育指導係 74-5243、生徒指導係 74-5247 ■教育センター 74-5253 ■社会教育課 93-7500 ■図書館 92-3500

■子ども科学館 92-3600

◇学習者用デジタル教科書が導入されます

令和6年度から、全ての小学校5年生から中学校3年生の英語を対象として、これまでの紙の教科書に加えて、学習者用デジタル教科書が導入されます。学習者用デジタル教科書は、紙の教科書と同一の内容をデジタル化したもので、国のGIGAスクール構想により導入された1人1台のタブレット端末で使用することができます。

学習者用デジタル教科書の導入も含めたICTを適切に活用した学習活動等により、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実や、児童生徒の「主体的・対話的で深い学び」の実現、学習上の困難の軽減等が期待されています。



【学習者用デジタル教科書の主な機能】

- 教科書の文字や図表の拡大
- 読み上げ機能
- 漢字のルビ振り
- ペンやマーカーでの書き込み、書き込みの保存
- 背景色や文字色の変更・反転

【英語の授業での活用例】

- 小学校 音声を聞いて気付いたことをデジタル教科書に直接メモをとり、その書き込みをもとにグループで話し合い活動を行う。
- 中学校 個人で設定スピードを遅くして再生したり、1文ずつ繰り返し再生したりして、聞き取りにくい文章の理解を深める。

【担当：教育指導課】

◇市立小中学校の在り方について検討を始めます

少子化等の影響による児童・生徒数の減少、学校施設の老朽化などに伴い、学校教育を取り巻く環境は、大きく変化することが見込まれます。こうした中、教育の公平性の確保と教育水準の維持向上等を図るため、令和6年度からの2年間で市立小中学校の適正な規模や配置に関する基本方針の策定に取り組みます。



また、併せて、教育環境の維持・改善を図るため、学校施設個別施設計画の改定、及び今後の学校プールと給食施設の在り方について検討を始めます。

【担当：教育総務課】

◇ 「朗読・録音ボランティア野の会」が 文部科学大臣表彰を受けました

文部科学省では、障がい者の生涯を通じた多様な学習を支える支援、実践する活動及びその活動を行う個人又は団体について活動内容が他の模範と認められるものに対し、その功績をたたえ文部科学大臣表彰を行っています。

このたび、伊勢原市立図書館で視覚障がい者のためにボランティア活動をしている「朗読・録音ボランティア野の会」が功労者表彰を受けました。

朗読・録音ボランティア野の会【活動の概要】

平成2年10月設立。年間を通じて図書館の対面朗読室でプライベートサービス（対面朗読）に従事しているほか、録音図書を作製を行っています。

また、視覚障がい者を対象とした朗読会の開催や、図書館事業「バリアフリー映画会」支援、「こどもの読書週間」での対面朗読体験事業等の啓発活動にも携わり、伊勢原市立図書館の視覚障がい者サービスを支援するボランティア団体として活動しています。

【担当：図書館】



◇ 「大山寺本堂」が 国の「登録有形文化財（建造物）」に

日本遺産「大山詣り」の終着点の一つでもある「大山寺」は、奈良時代に東大寺別当の良弁によって開山されたと伝えられる古刹です。本尊の不動明王坐像および両脇侍像は仏像としてはめずらしく鉄造のもので、鎌倉時代に願行上人の発願によって造られました。国の重要文化財に指定されています。



大山寺本堂は、開創時から大山寺の造営を担い、京都御所の造営にも携わった名匠、手中明王太郎により、明治18年に建立されました。

このたび、手中明王太郎による彫刻が圧巻であること、大山詣りを今に伝える貴重な近代仏堂であることが評価され、「国登録有形文化財（建造物）」となりました。

【担当：教育総務課 文化財係】

